

| | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|--------|-----|
| 町 長 | 副町長 | 課 長 | 主 幹 | 担当スタッフ | 合 議 |
| | | | | | |

別記様式第 4 号

| 会 議 等 結 果 報 告 書 | | | |
|-----------------|--|------|------------------|
| 会議区分 | 会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議 | 文書番号 | 上富子育 1037 号 |
| | | 決裁期日 | 平成 29 年 3 月 13 日 |
| 名 称 | 平成 28 年度 上富良野町子ども・子育て会議 | | |
| 日 時 | 平成 29 年 3 月 2 日 (木) 13 時 30 分から 14 時 30 分 | | |
| 場 所 | 上富良野町保健福祉総合センター 2 階研修室 | | |
| 出席者 | 子ども・子育て会議委員 15 名 (別紙名簿のとおり) 保健福祉課長 北川、健康づくり担当課長 杉原 子どもセンター施設長 山田、子育て支援班 安井、松田 | | |
| 内 容 | <p>1 開会 北川課長司会進行</p> <p>・北川課長あいさつ 年度末の忙しいなか出席いただき、あわせて本町の児童福祉行政にご協力、ご支援いただき感謝する。本町の子ども・子育て支会議において平成 27 年から 31 年までの子ども・子育て支援事業計画に基づき事業推進している。 当初の計画を前倒し、今年度より 3 施設が幼保連携型認定こども園として運営している。 本日は議題につきましてご審議いただき今後の事業推進に向けてご提言をお願いしたい。 以降の議事進行については、山本委員長に願います。</p> <p>2 議事</p> <p>【委員長】 上富良野町のお子さんの育ち、環境がより良くなるよう皆さんと審議し、更なる事業推進に向けてご意見等をお願いしたい。 1 番目の議題「平成 29 年度教育・保育施設の利用定員について」事務局より説明をお願いする。</p> | | |

内 容

- 【事務局】** 資料1により、現在の利用定員と平成29年度の利用申し込み状況、上富良野高田幼稚園と上富良野西保育園の利用定員見直しについて説明。
上富良野高田幼稚園は、1号認定の利用申し込みが現在の定員（90人）を超過しており、平成28年度中も定員を上回る状態が継続していることから、1号認定の利用定員を10人増の100人とし、2号認定の利用定員を10人減の20人とする見直し案。
上富良野西保育園は、利用定員60人であるが、今月で退園する児童が19人に対し新規申し込みが1人という状況で、平成29年度4月初日の利用児童が50人となる見込みであることから、10人減の50人とする案。
上富良野西保育園は、平成16～26年度まで認可定員45人で運営していた施設で、平成27年度の入所児童増加に伴い、認可定員60人に変更した経緯がある。施設の規模等を考慮し、より良い保育環境の観点から、利用定員を50人とする見直しを検討。
これらの見直しにより町の保育確保量は減少するが、町全体としては、ニーズ量に対応できる状況である。
- 【委員長】** 質問等ないか。特に質問がなければ、会議として了承。
2番目の議題「地域子育て支援事業の実施状況について」事務局より説明をお願いします。
- 【事務局】** 資料2により平成28年度の地域子育て支援事業の実施状況について説明。利用者支援事業については、数値目標を設定していないが、1か所設置。計画策定時の人口推計（89人）と平成28年度の出生数（63人）に相違幼稚園型一時預かり事業については、認定こども園への移行に伴い、計画対象外としたが、一定数利用がある状況。
- 【委員長】** 平成28年度の事業実施状況について、質問等ないか。
なければ、事務局の報告を承認してよいか。
次に3番目の「子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて」事務局より説明をお願いします。
- 【事務局】** 子ども・子育て支援事業計画は平成27～31年度の5か年の計画となっており、平成29年度が中間年となる。資料3参照
国の基本指針及び内閣府が示す計画見直しの考え方に沿って、平成29年度上半期中に計画見直しを検討。
- 【委員長】** 上半期を目途にということで、今会議での承認ということではないということよろしいか。
皆さんから計画見直しについてご意見をいただきたい。

内 容

【北川委員】 計画見込み量10%以上のかい離について。一部であれば見直しの必要はないのか確認したい。

【事務局】 認定区分ごとの量となっている。

また、現在の計画は、新制度での認定が行われていない状況で、ニーズ調査や計画策定を行った。実際に新制度に基づき認定や施設利用をしている中で、2号認定を受けて教育利用を希望するという実態がない。保育認定を受けて幼稚園を利用するケースを想定したものと考えられるが、上富良野町の現在の教育・保育環境においては、2号認定教育利用希望の区分そのものが該当しない。

また、認定こども園への移行により、幼稚園型一時預かり事業を計画対象外としたが、移行前からの在園児や所得階層の高い世帯では、1号認定で幼稚園型一時預かり事業を利用する実態が多くあることから、教育・保育の量だけでなく、ほかの地域子育て支援事業についても実情に則した計画としたい。

【北川委員】 区分自体の検討も必要となるとの認識でよいか。

【委員長】 国の問題である待機児童は、本町に関しては該当しないが、町の実情をもとに検討することだが、意見等はないか。

2号認定の教育利用希望等の細かなニーズ、認定子ども園の早い段階での浸透について保護者の皆さんからの意見はないか。

なければ、次に4番目の「子育て家庭の低所得対策について」事務局よりお願いします。

【事務局】 子どもの貧困が問題となっている中で、子育て家庭の低所得対策として、平成29年度から、市町村民税所得割非課税世帯を対象に、保育料の無償化と、中学生まで拡大して医療費無償化を実施する。

夫婦と子ども2人で給与収入が年収300万程度の世帯が対象となる。

【委員長】 皆さんに周知ということでよろしいか。何かあればご意見いただきたい。議案はすべて終了だが、その他ということで提案、意見はないか。

【事務局】 事務局からは特になし

【委員長】 意見交換の形をとりたい。

【事務局】 保護者の方からの小さなことでもよいのでご意見をいただきたい。

内 容

- 【北村委員】 子育ての環境としては選択肢もあり、満足している。
地域子育て支援拠点事業とは具体的にどのような事業か。
- 【事務局】 子育て支援センターで、国の事業名が子育て支援拠点事業となる。
- 【志賀委員】 就学時の補助等はあるか。
- 【事務局】 教育委員会の制度なので、教育振興課長から説明をお願いします。
- 【北川委員】 小中学校においては就学援助として、要保護児童生徒等への学用品費、給食費の援助がある。生活保護基準額に対して、1.2倍の収入額を基準に就学援助の対象となる。
新入学時の費用は現金支給、給食費は直接町からの支払いとしている。一部対象外となる費用もあるが、修学旅行、宿泊研修等の支給もある。クラブ活動、PTA会費等は町独自で費用負担しているものもある。
毎年、在籍児童生徒への周知、新入学児童生徒には2月に行う1日入学でパンフレットにて周知し相談に応じている。
次年度より保護者の負担軽減として、算数セットを学校に備え付けることで整備予定。議会に予算案を提出中。
- 【里委員】 一時預かりは前日まで申し込みとあるが、土曜日の急な預かりには対応してくれるか。
- 【増田委員 (西)】 各施設で対応は違うが、親のニーズを受容する方針のもと、柔軟に対応していく。土曜日は職員配置と給食の関係があり、一時預かりにおいて前日までの申し込みをお願いしている。緊急な申し込みにおいては柔軟に対応していく。
- 【高松委員】 第1子が就学後、第2子、第3子は1号認定に変更予定。長期休暇の預かり保育の利用料を、第2子、第3子は半額にする等との検討はないか。減免、上限金額を検討してほしい。
- 【事務局】 幼稚園型預かり事業について、以前は高田幼稚園独自の事業で、利用料を定めていたが、現在は町のルールの中でこども園3施設に実施を委託している。保護者からの要望として承る。
- 【委員長】 保護者からの熱い気持ちや伝わる意見があり、利用料については皆さんで検討し頑張っていたきたい。
- 【広瀬委員】 就学前の子育て環境は手厚いと感じるが、就学してからの相談場所、母たちのケアをしてくれる場所はどこになるか。

内 容

- 【事務局】** 子育て支援に子どもの年齢制限はないので、子育て支援班で相談に応じる。学校の問題に関しては、まず学校に相談していただくことになるが、子どもの養育に関しては子育ての相談として対応。
- 【広瀬委員】** かみんの保健福祉課であるとの認識はなかった。
- 【上村委員】** 上富良野町は子育てを安心してできる町だと実感した。支援事業計画では積極的な見直しの検討もあり安心できる。子どもの貧困についての対策等も検討とのことで期待する。
- 【寺岡委員】** ファミリーサポート事業の周知がひろがり、登録者が増えている。上富良野町での安心した子育てに繋がっていきたい。貧困層への対策もいち早く検討されている町で素晴らしいと感じる。
- 【北川委員】** 教育委員会は就学援助、学用品の整備に関わり、放課後クラブ、放課後スクール等の窓口である。子育て支援分野もあり、隙間のない体制である。
- 【増田委員 (西保育園)】** 新年度より50名定員となる。上富良野町で唯一の認可保育所として、お子さん・保護者のニーズに合わせ、安心して預けていただけるよう安全に保育をすすめていきたい。今後ともよろしく願いたい。
- 【増田委員 (高田幼稚園)】** 本町は自衛隊の町で転入・転出者が多い。そのため年度途中の転入者に対し、余裕をもって受入対応できるよう、1号認定定員を町と協議し10名増やした。認定こども園となり、上富良野町の子育て支援の確認、認可保育園としての対応は他町と比べよいと感じている。
- 【鈴木委員 (わかば愛育園)】** 本園とわかば中央保育園で主幹保育教諭会議を設けている。保育の質向上等の話し合いを行い、歩調を合わせている。
- 【成田委員 (わかば中央保育園)】** 平成28年度認定こども園となり、平成26年度町から移譲。わかば愛育園の保育と同じ方向性で進めている。土曜日の一時預かりについては臨機応変な対応を考えている。親御さんの気持ちを汲んで保育ができる施設との理解につなげたい。
- 【委員長】** 顔が見えるなかで話し合いができることが良い。こうして関係者が集うことが大事である。未来づくり、社会で子どもを育てていくため、皆さんの尽力、意見が必要である。今後とも、子ども・子育て会議のためによりしく願いたい。

| | |
|-----|---|
| 内 容 | <p>【副委員長】 管内の中でも上富良野町は幼児・小学校の部分で恵まれていると感じる。少年団関係では全国大会出場に町が6割負担を行い、イベント、皆勤賞は町が表彰を行う。先生方の勉強会、道外研修も町負担がある。上富良野町は教育に力を入れている町で子育てがしやすい町であると感じる。</p> <p>子育ての相談場所として、PTAを活用し、交流してほしい。 役員も是非してほしい。</p> <p>【委員長】 出生数は減っているが、子どもを育てやすい町との自覚がもてた。今後も子ども・子育て会議を盛り上げ、子育てしやすい上富良野町をつくってほしい。</p> <p>3 閉会</p> <p>保護者委員の子ども2人、プレールームで託児実施 (NPO こどもサポートふらのに委託)</p> |
|-----|---|